



いのちにやさしいまちづくり

Neko-Dasuke 第7号

こぼればなし

2月17日

はオンラインと荒川区の「ふらっとにっぽり」

を会場に(一社)ワンウェルフェア第二回大会・学会(画像右上)と、港区高輪図書館の「地域猫ってなんだろう」(画像左下)が重なりました。

みなと保健所の仙北さんとねこだすけ工藤は午前中と午後の、二会場掛け持ちでした。

ワンウェルフェアの会場には獣医師界の重鎮、柴内裕子先生がお見えになられ、社会福祉と動物愛護に加え、「人の福祉に役立っている動物の福祉」についての貴重でグローバルな構想のお話をいただきました。

港区は、高輪図書館とみなと保健所の共催で、地元図書館と馴染みの深い参加者さんたちとの、地域に根付いた地域猫対策が感じられ、会場に猫関連図書の本棚がありました。(こぼればなし6号に関連記事)



入間市「人と動物の福祉を考える講演会」

2月24日、いるまドッグキャットの会主宰松村郁美さんの数年来の思いが、市役所の開催を導いたことと思います。「何人来てくれるかしら?」と、松村さんの心配をよそに、次々とテーブルを追加し60名を超えました。

同市生活環境部生活環境課小島課長から基調のお話の後、NPOねこだすけ代表理事工藤久美子が地域猫対策と社会福祉との連携などを講演しました。

動物愛護のボランティアさん、社会福祉関係の皆さま、埼玉県と同市の複数の議員、他行政区の職員さんなど肩書きも多彩で、人間ケーブルテレビの取材もありました。(下の画像)



地域猫・展示パネル

2007年頃から使い回しているパネル類を少しづつ手直しし、貸し出しています。2月3日、国分寺市「こんなに簡単地域猫活動」、2月18日、和歌山県那智勝浦町と3月17日、同県和歌山市の「地域猫対策セミナー」で展示していただきました。

地域猫・STAFF腕章

大量の寄贈を頂きました。地域猫対策腕章をご希望の皆様は無償でお届けしています。お名前ご住所、電話番号、必要個数を、配送の間違いを防ぐため、なるべくファックスでお知らせください。

FAX.03-3350-6440



Neko-Dasuke <http://nekodasuke.main.jp/>

会報紙・ねこだすけニュース発行の合間に、代表理事工藤久美子が講演したセミナーなどの一部を、地域猫ブログから抜粋し引用しました。



手術がこれからですごく気になり、のぞき見の日課に。

手術が終わり、毎日の食堂も決まりました。

第3回人・動物・地域に向き合う勉強会。令和5年12月8日、港区みなと保健所が区立伝統文化交流館で開催しました。(こぼればなし6号に関連記事) 社会福祉や動物愛護関連の方々、他市区からの行政職員など、みなと保健所仙北さんのコーディネートで、

まさに多機関連携のワークショップが行われました。(左の画像)



東久留米市飼い主のいない猫・野良猫対策セミナー。令和5年12月16日、東久留米市主催、HASホーム・アニマル・ソサエティの協力で開かれました。左下の画像(こぼればなし6号に関連記事)

「地域猫」のカタチは変わっても活動は全国に広がっています。各地域には活動や対策に精通したボランティアさん、熱心な行政職員や自治地区の住民などと共通の情報授受も増えました。

今回は地域情報の豊富な地元ボランティアリーダーさんの「講師講演」を、と思

いました。(き)



所沢市主催、年に一度の地域猫セミナー(通称)も13回目とのことでした。2月10日は早朝から休日出勤の職員さんたちが万全の会場設営で開会を待ちました。

会場からは「所沢市は地域猫の三者協働が上手に定着している。」との声も。

話題は、これからの政令指定都市構想?や、人の福祉との多機関連層連携も想定のうちですし、動物愛護管理係を置く事も夢ではないなども。

もし課題があるとしたら、猫問題に限らない次の世代の皆様と、人と動物との関わりなどで

しょうか?(画像左)

